

南鳩ヶ谷児童発達支援		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが適切に確保されているか	9	2		保育園ぐらいのスペースだと思うので十分ではない。走り回ると少し狭いのではないかな…。1日の流れを見ることができないので、写真等で見てみたい。	安全に活動ができるスペースが確保できるように、今後も工夫してまいります。
	②	職員の配置は適切であるか	11			こども1人2人に、必ず先生がついて指導頂いています。	安全に活動ができる職員配置をこれからも心がけてまいります。
	③	バリアフリー化の配慮がなされているか	9	2			
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で※1児童発達支援計画が作成されているか	11				
	⑤	活動プログラムに工夫はされているか	11			様々なことをやって下さり、個人の課題など、得意不得意を知ったうえでやってくださっている。	ありがとうございます。今後もお子様達が楽しく、得意なことが増えて、自信に繋がる活動を取り入れてまいります。
	⑥	地域交流をする機会があるか	6	5	1	コロナでないと思います。	コロナ禍なので、状況を見ながら地域交流ができる機会を前向きに検討してまいります。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			事前説明をしていただきました。	今後も、分かりやすい説明と、具体的な支援内容をお伝えできるように努めます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるよう配慮がなされているか	11			「本日あった事」等、子どもからだと伝わりにくい出来事を教えて下さり、嬉しいです。	連絡帳も活用し、送りの際にも、お子様の様子をできる限り伝え、ご家庭と連携がとれるように努めます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		いつも相談させて頂き感謝しております。相談にのっていただいています。	ありがとうございます。今後も保護者様に寄り添いながら、支援に努めてまいります。
	⑩	保護者会や、保護者同士の交流の場が提供されているか	2	1	8	コロナなので仕方ないと思います。コロナ過で難しいかもしれないが、半年に1度など子どもが活動している場所で参観などできると成長など把握できると思う。交流会等、是非参加したいです。	コロナ禍で実施できなかった活動もありますが、今後はその状況を見て、参観や、交流会等ができるように検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか	6	5		苦情をしたことがないので、どちらともいえない。	今後も、分かりやすい説明と安心できる環境づくりに努めてまいります。
	⑫	定期的に会報（リズム通信等）やホームページ等で、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11			リズム通信を、毎回子どもと楽しく見えています。	ありがとうございます。リズム通信で活動報告を行いながら、今後も努めてまいります。
	⑬	個人情報の取り扱いに注意しているか	11				
非常時 等の 対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10		1	地震や災害があった際の子どもの受け渡しの方法などの共有ができると何かあった時にスムーズに対応できると思います。	各種対応マニュアルは事業所内に掲示してございます。保護者の皆様方にもより分かりやすい周知が出来るよう努めます。
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、その他必要な訓練が行われているか	9	2			
満足 度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		先生方の名前も覚え、歌やダンスを覚えたり成長させていただいています。帰ってくると楽しかったと言っています。	活動を楽しみにして下さりありがとうございます。これからもお子様方が楽しく過ごせる活動を提供できるように努めてまいります。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	11			とても感謝しております。引き続きよろしく願います。大変、親切に頂いて感謝しています。	ありがとうございます。コロナ禍のご理解とご協力に感謝いたします。今後も、職員一同団結しながら、より良い支援を行えるよう精進してまいります。

※1 障害児相談支援事業者と連携し、障害児支援利用計画との整合性のある児童発達支援計画の作成と児童発達支援の実施が重要である。
なお、障害児支援利用計画と児童発達支援計画は、個々の子どもの支援における合理的配慮の根拠となるものである。（ガイドラインより）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	対応
環境・ 体制 整備	①	利用定員が活動等のスペースとの関係で適切であるか		4	3	コロナ禍で活動班を分けた時に狭さを感じた。	外活動と室内活動をうまく組み合わせながら、活動のバランスをとる。
	②	職員の配置は適切であるか	6		1	安全配慮をさらに向上すべきと思う時がある。	ヒヤリ報告が多い時間帯を分析して、危険な時間帯等を把握するなど、活動の見直しや
	③	バリアフリー化の配慮がなされているか	3	2	2		
業務 改善	④	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに 広く職員が参画しているか	6	1			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげているか	6	1			
	⑥	この自己評価表の結果を、会社のホームページ 等で公開しているか	1	4	2		周知の徹底がされていなかった為、共有確認する。
	⑦	第三者委員を設けているか	1	5	1		周知の徹底がされていなかった為、共有確認する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか		4	3		研修に拘らず、他事業所間の情報や、職員間の情報交換 などでも、資質の向上ができると思う。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デ ィサービス計画を作成しているか	4	3			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	3	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1			
	⑫	活動プログラムの工夫がされているか	6	1			
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題を設定し て支援しているか	3	4			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を 作成しているか	4	3			
	⑮	ミーティング時に当日の打ち合わせ並びに前日の 振り返りや気づきの共有等適切に行っているか	7				
	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	6	1			
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサ ィサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3			
関係 機関 や保 護者 との 連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画しているか	4	3			
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っているか	5	2			

関係機関や保護者との連携	㉔	就学前・在学中・卒業後等の関係機関との情報共有と相互理解に努めているか	4	3		
	㉕	障害のない子どもと活動する機会がある		1	6	現状、コロナ過でできていない。 今後、外出や、公園等の活動を多く取り入れ、自然なかたちで関わるところから始める。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	6	基本的な関係機関の理解をする。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるよう配慮がなされているか	5	2		
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して相談に応じる等の支援を行っているか	6	1		
保護者への説明等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		
	㉛	保護者会や、保護者同士の交流の場が提供されているか		2	5	現状、コロナ過でできていない。 今後の状況も関係してくるが、交流の場が提供できるように、前向きに検討する。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか	4	3		
	㉝	定期的に会報（リズム通信等）やホームページ等で、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		
	㉞	個人情報の取り扱いに注意しているか	6	1		
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、その他必要な訓練が行われているか	6	1		
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をいっているか	2	3	2	知識や、勉強不足で、対応に不安がある。 研修等の確保と、日々の振り返りから職員間で都度、情報の共有をして知識を高める。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4		
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	5	2		
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		